



雨の日の交通安全



雨の日は視界が悪く、子どもが運転手から見落とされる危険性があります。また、道路は滑りやすく音も聞こえにくいため事故が起きやすくなります。車の動きに十分注意して、交通事故からお子さんを守りましょう！



靴は

「サイズのあった靴を履かせましょう。」

靴が大きすぎると歩きにくいだけでなく、脱げたり転びやすくなり危険です。成長にあわせて足にあった歩きやすい靴を履かせましょう。



服装は

「目立つ色を着せましょう。」

運転者に見落とされないように、白や黄色など目立つ色を選んで着せましょう。また、日中でも薄暗いため反射材を身に着けましょう。



傘は

「真っすぐさしましょう。」

傘をさす時は、周りの安全確認ができるように、真っすぐさしましょう。

傘を閉じている時は、振り回したり引きずったりせずに、手にしっかり持たせましょう。

また、路上でふざけると危険です。傘で遊ばないように注意しましょう。

歩く場所は

「歩道・路側帯・右側通行。」

歩道がある道路では歩道を歩きましょう。路側帯がある道路では路側帯を歩きましょう。

歩道も路側帯もない道路では車と対面通行になる右側通行をしましょう。



『お子さんと道路を歩く時のチェック！』



- 手をつないでいますか？
- 大人が車道側を歩いていますか？

駐車場での注意

「駐車場内での子どものひとり歩きは危険です！」

① 必ず手をつないで歩きましょう

子どもは背が低いため、車の死角に入りやすく、運転手から見落とされる危険性があります。

② 子どもを先に降ろさないようにしましょう



車に乗る時は子どもを先に乗せ、降りる時は大人が先に降りて、子どもを降ろすようにしましょう。

